



平成 17年 12月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17年 4月 28日

上場会社名 サッポロホールディングス株式会社

上場取引所 東 札

コード番号 2501

本社所在都道府県

(URL <http://www.sapporoholdings.jp>)

東京都

代表者 役職名 取締役 社長 氏名 村上 隆男

問合せ先責任者 役職名 取締役 経営戦略部長 氏名 持田 佳行 TEL (03) 5423 - 7407

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容) その他有価証券については、3月末日現在の時価で評価しておりますが、減損処理は行っておりません。

減価償却費については、年度見込額のうち当四半期分を計上しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 17年 12月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 17年 1月 1日 ~ 平成 17年 3月 31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

記載金額は百万円未満を切り捨てております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年12月期第 1 四半期	90,547	3.9	3,871	-	4,731	-	5,434	-
16年12月期第 1 四半期	94,209	3.1	3,533	-	4,796	-	5,276	-
(参考) 16年 12月期	494,929		23,647		18,005		4,643	

	1株当たり	潜在株式調整後
	四半期（当期）純利益	1株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
17年12月期第 1 四半期	15.30	-
16年12月期第 1 四半期	14.85	-
(参考) 16年 12月期	13.07	12.01

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年12月期第 1 四半期	576,476	86,485	15.0	243.59
16年12月期第 1 四半期	609,872	82,125	13.5	231.09
(参考) 16年 12月期	602,111	92,263	15.3	259.81

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による	投資活動による	財務活動による	現金及び現金同等物
	キャッシュ・フロー	キャッシュ・フロー	キャッシュ・フロー	期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年12月期第 1 四半期	4,557	541	12,202	65,850
16年12月期第 1 四半期	7,891	3,262	18,461	15,743
(参考) 16年 12月期	32,242	53,314	35,418	58,706

〔参考〕

平成 17年 1 2月期の中間期および通期業績予想につきましては、平成 17年 2月 18日に発表いたしました業績予想に変更ありません。

添付資料

- ・（要約）四半期連結貸借対照表
- ・（要約）四半期連結損益計算書
- ・四半期連結剰余金計算書
- ・（要約）四半期連結キャッシュ・フロー計算書
- ・セグメント情報
- ・生産、受注及び販売の状況
- ・決算補足説明資料

平成17年12月期 第1四半期連結業績の概況

1. 第1四半期の概況

当第1四半期（平成17年1月1日から平成17年3月31日まで）の連結売上高は、「ウェスティンホテル東京」売却の影響などにより、905億円（前年同期比36億円、4%減）となりました。連結経常利益につきましては、47億円の損失となりました。

各セグメント別の概況につきましては以下の通りです。

【酒類事業】

ビール事業では、ドラフトワンが全国発売2年目を迎える一方で、ビール・発泡酒・新ジャンルを合計した総需要が前年同期比91%と低迷する中、以下のようなマーケティング施策を展開しました。

「サッポロ Draft One（ドラフトワン）」は、昨年2月の全国発売以降もその勢いを維持しており、2年目を迎えた本年も、順調に市場定着を図っています。スッキリ味を実感していただくための『実感トライキャンペーン』を立て続けに実施し、市場浸透度を高めることに成功しました。売上数量は前年同期比157%となりました。

「エビスビール」は引き続き高いブランド力を維持し、売上数量は前年水準を若干下回りましたが、ビール総需要を上回る97%を確保しました。特に3月に限定発売した「エビス超長期熟成」は、エビスのブランド価値を更に高めることに成功し、エビスブランド合計の売上数量の前年同期比は103%となりました。

「サッポロ生ビール黒ラベル」は、『2006年までに麦芽とホップを100%協働契約栽培にする』取り組みを推進するブランドとしてお客様にPRを行っていますが、業務用市場低迷の影響もあり、売上数量の前年同期比はビール総需要を若干上回る90%となりました。

発泡酒は、「北海道生搾り」で原料へのこだわりをアピールしていますが、昨年3月に新発売した「麦100%生搾り」の裏返しもあり、売上数量の前年同期比は69%になりました。

上記の結果、ビール・発泡酒・ドラフトワン合計の売上数量は、前年同期比101%と前年を上回ることができました。

ワイン事業では、1月に発表して大きな反響を生んだ「アミノナチュレ」を3月に発売し、国産ワインの新たな柱へと育成を図っています。

輸入ワインでは、昨年発売し当社の新たなパワーブランドへと成長した「イエローテイル」シリーズにメルローを追加発売し、更なる市場定着を図っています。

この結果、ワイン市場全体が苦戦する中、国産・輸入ワインの売上数量は前年同期比106%と総需要を上回ることができました。

酒類事業の当第1四半期の売上高は658億円（前年同期比5億円、1%減）となりました。

【飲料事業】

飲料業界の当期の総需要は前年同期比約102%と推定されます。

当社は、緑茶・ミネラルウォーターでの基盤強化、果汁、炭酸カテゴリーにおけるブランド確立ならびに高付加価値商品の育成に努めました。

緑茶・ミネラルウォーターについては、「玉露入りお茶」は流通企業とのタイアップキャンペーンなどの施策を展開しましたが、前年を下回る結果となりました。一方、ミネラルウォーターについては前年を大きく上回る実績を上げることができました。

果汁飲料については、発売以来好評の「美味しぼり つぶたっぶり温州みかん」のリニューアルや、当社のマスコットキャラクターである『リボンちゃん』をあしらった100%果汁飲料「Ribbon ORANGE 100%」「Ribbon APPLE 100%」を発売するなど商品ラインアップの強化に努めました。

炭酸飲料については、『大人向けの炭酸』として支持を集める「Sparkling」ブランドの新商品の発売、「がぶ飲みメロンクリームソーダ」のリニューアルなどを行いました。

これらにより、果汁、炭酸カテゴリーとも、前年を大きく超える実績を残すことができました。

高付加価値商品については、サッポログループ発祥の地にちなんだ「北海道」ブランドを確立すべく、「北海道 釐沢ミルク&コーヒー」のリニューアルならびにフィギュアのオンパックスキャンペーンの実施、新商品の投入などを行いました。

以上の結果、飲料事業の売上高は134億円（前年同期比3億円、2%増）となりました。

【外食事業】

外食業界は、客単価に下げ止まり傾向が見られるものの、既存店の来店客数の減少傾向が続く厳しい状況にありました。

このような環境下で、大型旗艦店舗の売上高拡大による既存店部門の収益向上と、新業態店舗を中心とする新規出店を推進しました。

既存店部門では、大型連休や3連休対策を本年の重点課題の一つとして取組み、日・祝日の食事メニューの品質向上と品揃えの充実を図りました。また、3月にはフレッシュマンセールの販促促進策を展開し、新たなお客様層の開拓を図りました。

新規出店は、成長期にある新業態店舗の積極的な拡大と優良な立地の確保を課題に取り組みました。幅広いお客様層にご支持をいただいている「かこいや」の6号店を東京・三田に開店しました。また、つくばエクスプレスの開業をひかえた秋葉原再開発エリアには、「かこいや」の7号店とともに、新業態店舗「J's Table（ジェイズテーブル）」の1号店も同時に開店しました。

以上の結果、外食事業の売上高はビヤホール部門が堅調に推移したものの、シャトーレストラン撤退の影響などにより、売上高は57億円（前年同期比2億円、4%減）となりました。

【不動産事業】

不動産事業では、首都圏オフィスビル空室率の改善傾向が継続する一方で、賃料水準は低下傾向から脱しきれない状況が続いています。

このような中、賃貸オフィスビルや賃貸住宅においては、稼働率・賃料水準の維持・向上を目指し、計画的な改修や機能強化に向けた投資を行うとともに、積極的なリーシングを展開しました。また、商業施設を有する「恵比寿ガーデンプレイス」「サッポロファクトリー」においては、各種イベントやフェアを開催するなど、話題性を高め集客力強化に努めました。

不動産事業の当第1四半期の売上高は52億円（前年同期比2億円、4%減）となりました。

2. 連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失が43億円となり、主に売上債権の減少額276億円、未払酒税の減少額227億円の調整があり、支出額が前年同期比33億円減少の45億円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、支出額が前年同期比27億円減少の5億円となりました。これは主に有形固定資産の売却による収入が21億円である一方、有形固定資産の取得による支出が19億円、その他投資活動による支出が14億円となったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、収入額が前年同期比62億円減少の122億円となりました。これは主に、短期借入金による調達149億円及び長期借入金による調達55億円がある一方、長期借入金の返済による支出が67億円、配当金の支払による支出が13億円となったことによるものです。

なお、当第1四半期末では現金及び現金同等物の残高は658億円となりました。

(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期末 (平成17. 3.31現在)	前第1四半期末 (平成16. 3.31現在)	増 減	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成16.12.31現在)
[資産の部]				
流動資産	158,612	115,432	43,179	184,109
現金及び預金	66,297	15,829	50,467	58,712
受取手形及び売掛金	52,179	53,687	1,508	79,826
たな卸資産	25,778	25,813	34	23,054
その他	14,557	20,340	5,782	22,802
貸倒引当金	200	237	36	286
固定資産	417,864	494,439	76,575	418,002
有形固定資産	350,137	426,173	76,036	351,732
無形固定資産	2,296	2,927	630	2,474
投資その他の資産	68,282	67,850	431	66,651
貸倒引当金	2,851	2,511	339	2,856
資産合計	576,476	609,872	33,396	602,111
[負債の部]				
流動負債	219,927	180,437	39,490	233,614
支払手形及び買掛金	29,598	28,735	863	34,790
短期借入金及び 1年内償還社債	101,210	64,672	36,537	80,608
未払酒税	20,674	22,475	1,801	43,379
その他	68,444	64,553	3,891	74,835
固定負債	270,062	347,289	77,226	276,234
社債	59,720	99,720	40,000	59,720
長期借入金	142,523	178,691	36,167	149,525
退職給付引当金	16,516	16,059	457	16,657
その他	51,302	52,818	1,515	50,330
負債合計	489,990	527,726	37,735	509,848
[少数株主持分]				
少数株主持分	-	21	21	-
[資本の部]				
資本金	43,831	43,831	-	43,831
資本剰余金	36,242	36,236	5	36,241
利益剰余金	898	2,100	2,999	8,108
その他有価証券評価差額金	6,229	4,748	1,481	4,803
為替換算調整勘定	341	368	26	385
自己株式	374	221	152	336
資本合計	86,485	82,125	4,360	92,263
負債、少数株主持分及び資本合計	576,476	609,872	33,396	602,111

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期	前第1四半期	増 減	前連結会計年度の 要約連結損益計算書
	〔平成17. 1. 1から 平成17. 3.31まで〕	〔平成16. 1. 1から 平成16. 3.31まで〕		〔平成16. 1. 1から 平成16.12.31まで〕
売 上 高	90,547	94,209	3,662	494,929
売 上 原 価	62,827	67,295	4,468	339,426
売 上 総 利 益	27,719	26,914	805	155,503
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	31,591	30,447	1,143	131,855
営業利益又は営業損失()	3,871	3,533	337	23,647
営 業 外 収 益	466	384	81	2,030
受取利息及び配当金	118	117	1	742
持分法による投資利益	-	-	-	13
そ の 他	347	266	80	1,274
営 業 外 費 用	1,326	1,647	320	7,672
支 払 利 息	959	1,304	344	4,863
た な 卸 資 産 廃 棄 損	71	238	166	1,662
持分法による投資損失	236	51	185	-
そ の 他	58	53	4	1,146
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 ()	4,731	4,796	65	18,005
特 別 利 益	1,005	313	691	9,894
固 定 資 産 売 却 益	630	1	629	2,409
投 資 有 価 証 券 売 却 益	375	198	177	454
そ の 他	-	114	114	7,030
特 別 損 失	597	33	564	20,138
固 定 資 産 除 却 損	175	33	142	3,890
そ の 他	421	-	421	16,247
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前四半期純損失()	4,323	4,515	192	7,761
法人税、住民税及び事業税	122	35	86	3,671
法人税等調整額	988	726	262	614
少数株主利益又は損失()	-	1	1	61
当 期 純 利 益 又 は 四 半 期 純 損 失 ()	5,434	5,276	157	4,643

四半期連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期 〔平成17. 1. 1から 平成17. 3.31まで〕	前第1四半期 〔平成16. 1. 1から 平成16. 3.31まで〕	増 減	前連結会計年度の 連結剰余金計算書 〔平成16. 1. 1から 平成16.12.31まで〕
(資本剰余金の部)				
資本剰余金期首残高	36,241	36,231	10	36,231
資本剰余金増加高	0	4	4	10
自己株式処分差益	0	4	4	10
資本剰余金期末残高	36,242	36,236	5	36,241
(利益剰余金の部)				
利益剰余金期首残高	8,108	4,953	3,154	4,953
利益剰余金増加高	-	-	-	4,958
当期純利益	-	-	-	4,643
新規連結に伴う増加高	-	-	-	125
新規持分法適用に伴う増加高	-	-	-	189
利益剰余金減少高	7,209	7,054	155	1,803
配当金	1,775	1,777	1	1,777
連結子会社の決算期変更に伴う減少高	-	-	-	26
四半期純損失	5,434	5,276	157	-
利益剰余金期末残高	898	2,100	2,999	8,108

(要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期 (平成17. 1. 1から 平成17. 3.31まで)	前第1四半期 (平成16. 1. 1から 平成16. 3.31まで)	増 減	前連結会計年度の 要約連結 キャッシュ・フロー計算書 (平成16. 1. 1から 平成16.12.31まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前四半期純損失()	4,323	4,515	192	7,761
減 価 償 却 費	5,441	6,295	854	25,329
退職給付引当金の増加(減少)額	141	568	426	148
貸倒引当金の増加(減少)額	90	145	54	251
受取利息及び受取配当金	118	117	1	742
支 払 利 息	959	1,304	344	4,863
売上債権の減少(増加)額	27,655	19,589	8,065	6,901
たな卸資産の減少(増加)額	2,724	957	1,766	1,698
仕入債務の増加(減少)額	5,198	2,474	2,723	3,590
未払酒税の減少額	22,705	21,216	1,488	312
そ の 他	185	2,396	2,211	4,050
小 計	1,430	5,203	3,772	39,738
利息及び配当金の受取額	318	290	27	713
利息の支払額	867	1,262	394	5,131
法人税等の支払額	2,577	1,716	860	3,078
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,557	7,891	3,334	32,242
投資活動によるキャッシュ・フロー				
投資有価証券の取得による支出	90	43	47	361
投資有価証券の売却による収入	598	527	71	1,150
事業売却による収入	-	-	-	49,659
有形固定資産の取得による支出	1,905	2,936	1,030	7,756
有形固定資産の売却による収入	2,184	9	2,174	9,423
長期貸付金の実行による支出	21	520	499	601
長期貸付金の回収による収入	112	61	50	4,528
そ の 他	1,419	361	1,058	2,727
投資活動によるキャッシュ・フロー	541	3,262	2,720	53,314
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の増加(減少)額	14,900	27,611	12,711	636
長期借入れによる収入	5,500	6,000	500	6,106
長期借入金の返済による支出	6,799	8,896	2,097	33,989
社債の発行による収入	-	-	-	20,100
社債の償還による支出	-	-	-	20,000
配当金の支払額	1,360	1,235	124	1,772
そ の 他	36	5,018	4,981	5,226
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,202	18,461	6,258	35,418
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	18	59	36
現金及び現金同等物の増加額	7,144	7,288	143	50,101
現金及び現金同等物の期首残高	58,706	8,455	50,250	8,455
連結の範囲変更等に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	-	-	149
現金及び現金同等物の期末残高	65,850	15,743	50,107	58,706

セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

(単位：百万円)

摘 要	当第1四半期							平成17. 1. 1から 平成17. 3.31まで			
	酒 事	類 業	飲 事	料 業	外 事	食 業	不 動 産	業 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高 (1) 外部顧客に対する 売 上 高											
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	65,890		13,492		5,789		5,245	129	90,547	-	90,547
計	67,027		13,526		5,789		5,769	134	92,247	(1,700)	90,547
営 業 費 用	70,566		14,464		6,028		4,392	162	95,613	(1,194)	94,418
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 ()	3,538		938		238		1,377	28	3,366	(505)	3,871

(単位：百万円)

摘 要	前第1四半期							平成16. 1. 1から 平成16. 3.31まで			
	酒 事	類 業	飲 事	料 業	外 事	食 業	不 動 産	業 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高 (1) 外部顧客に対する 売 上 高											
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	66,477		13,192		6,013		5,449	3,076	94,209	-	94,209
計	66,997		13,228		6,013		6,713	3,082	96,036	(1,826)	94,209
営 業 費 用	70,607		13,850		6,347		5,261	3,140	99,206	(1,463)	97,743
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 ()	3,610		621		333		1,452	57	3,170	(362)	3,533

(単位：百万円)

摘 要	前連結会計年度							平成16. 1. 1から 平成16.12.31まで			
	酒 事	類 業	飲 事	料 業	外 事	食 業	不 動 産	業 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高 (1) 外部顧客に対する 売 上 高											
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	364,585		69,323		26,610		22,505	11,904	494,929	-	494,929
計	369,570		69,586		26,610		27,437	11,941	505,146	(10,216)	494,929
営 業 費 用	350,759		69,120		26,382		21,464	12,205	479,932	(8,650)	471,281
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 ()	18,810		466		228		5,972	264	25,213	(1,565)	23,647

(注)

(1) 事業区分の方法は、日本標準産業分類を参考にし、各事業の営業内容の類似性により区分しております。

(2) 各事業区分の主要製品

事 業 区 分	主 要 製 品
酒 類 事 業	ビール・発泡酒等・ワイン・ウイスキー他・物流・プラント・アグリ
飲 料 事 業	飲料水
外 食 事 業	ビヤホール・レストラン
不 動 産 事 業	不動産賃貸・不動産販売・商業施設運営・ユーティリティ供給
そ の 他	スポーツ施設等

(3) 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、前第1四半期 395百万円、当第1四半期 526百万円であります。

生産、受注及び販売の状況

1 生産実績

(単位：kl)

事業の種類別セグメントの名称	生産高	前期比(%)
酒類事業(ビール・発泡酒等)	186,755	1.2
酒類事業(ワイン等)	4,119	8.9
飲料事業(飲料)	7,777	+8.7

2 受注実績

当グループでは受注生産を行っておりません。

3 販売実績

(単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	販売高	前期比(%)
酒類事業	65,890	0.9
飲料事業	13,492	+2.3
外食事業	5,789	3.7
不動産事業	5,245	3.8
その他の事業	129	95.8
計	90,547	3.9

【決算補足説明資料】

平成17年度第1四半期決算（連結要約）

連結損益計算書（要約）

（単位：億円）

	平成17年度	平成16年度	増減	増減率
酒類事業	658	664	5	0.9%
飲料事業	134	131	3	2.3%
外食事業	57	60	2	3.7%
不動産事業	52	54	2	3.8%
その他	1	30	29	95.8%
売上高	905	942	36	3.9%
酒類事業	35	36	0	-
飲料事業	9	6	3	-
外食事業	2	3	0	-
不動産事業	13	14	0	5.2%
その他	0	0	0	-
全社	5	3	1	-
営業利益	38	35	3	-
営業外収益	4	3	0	
営業外費用	13	16	3	
経常利益	47	47	0	-
特別利益	10	3	6	
特別損失	5	0	5	
税引前利益	43	45	1	-
当期純利益	54	52	1	-

（連結）	平成17年度	平成16年度	増減	増減率
金融負債残高	3,034	3,430	396	11.6%
設備投資（支払ベース）	19	31	11	36.0%
減価償却費	54	62	8	13.6%

販管費明細

（単位：億円）

	平成17年度	平成16年度	増減	増減率
販売費及び一般管理費計	315	304	11	3.8%
販売奨励金手数料	79	76	2	3.8%
広告宣伝費	59	58	1	2.3%
給料手当	47	46	0	1.5%
退職給付費用	9	9	0	5.6%
その他	119	113	5	5.3%

平成17年度第1四半期決算（連結）

主な利益増減要因

は利益減少要因

（単位：億円）

主な増減要因	増減	備考	
		内容	金額
ビール等	1		
限界利益	11	数量増・品種構成 原材料費 その他	3 4 4
固定費その他	10	販促費増 システム関連費用 その他	3 3 4
ワイン洋酒	1	販促費増他	1
その他	0		0
酒類事業	0		0
飲料事業	3	数量増・品種構成 コスト削減	3 0
外食事業	0	サッポロライオン その他	0 0
不動産事業	0	販売 賃貸	0 0
その他事業	0		
全社	1	ホールディングス経費他	1
営業利益増減額	3		
営業外収支		金融収支（ 11 8 ） その他	3 0
経常利益増減額	0		
特別損益	2	固定資産売却益（ 0 6 ） 固定資産除却損（ 0 1 ） 有価証券売却益（ 2 4 ） その他（ 1 4 ）	6 1 2 5
法人税等増減額	3		
少数株主損失	0		
当期純利益増減額	1		